

■建学の精神

本学の建学の精神「心技一如」は、母体である学校法人純美禮（すみれ）学園の創設者である中野富美先生の理想とすべき教育方針を四文字で表現した言葉です。「心技一如」の「心」とは心のはたらきとして品性を表し、「技」とは生きる術（すべ）としての能力をさしています。私たちが備えるべき品性と能力は、車の両輪のようなものであり、まことの教育とは、人格教育と実学教育を両輪とすることによって、はじめて実現できることを表しています。

昭和45年の開学にあたって、この精神を受け継ぎ、建学の精神を「心技一如」と決めました。この建学の精神を基に、本学の教育は、豊かな教養と実践的な専門の知識と技術を培い、デジタル化社会を迎える新時代において、社会の発展と文化の向上に貢献する人を育成することを目的としています。

建学の精神	心技一如（しんぎいちによ）
-------	---------------